

平成22年度水産研究所試験研究課題一覧

試験研究の基本的推進方向		研究課題名	内容	研究期間	担当
センター基本推進方向	水産部門推進方向				
農林水産物のブランド力強化	水産物のブランド力強化	徳島県産ハモの販売促進を図るための、差別化及び品質向上技術開発	本県のブランド品目であるハモの生産量は、全国トップクラスであり、ブランド化が進められている。徳島産ハモが量だけでなく品質においても市場で高い評価を受けるように、漁獲後の船上での取り扱い方法を改善することにより徳島産ハモの販売促進を強かにバックアップする。	H20～22	海洋生産技術
		「鳴門わかめ」ブランド維持拡大に向けた養殖技術の開発	高水温環境に適応した品種開発および養殖技術の再検討により、漁場の有効利用を図り、地球温暖化時代に対応したワカメ養殖業維持のための一助とする。	H22～24	環境増養殖
		滅菌シャーベット氷を用いたシラス等小型魚の価値向上	海水を原料とするシャーベット氷は、水産物流通現場で広く使用される淡水プレート氷に比べて鮮度保持能力が優れていると言われる。本事業は、県産魚介類の出荷時等にシャーベット氷の特性を活かした鮮度保持処理を行うことにより、ブランド製品を作出するものである。	H22～24	海洋生産技術
次世代の農林水産業の展開	次世代の水産業の展開	資源管理に必要な情報提供事業	新漁業管理体制下での適切な操業支援、調査体制の一層の整備を目的に、沿岸域における漁海況情報の収集・分析・提供を行うとともに地域レベルでの漁海況情報の提供を行う。	H9～	海洋生産技術
		ナマコ増殖システムの開発	ナマコ資源の維持培養を図るためには、幼生や稚ナマコの生残を高めることが必要である。天然礁及び人工投石礁を稚ナマコの育成場とし、その周辺に人工的な付着基盤(コレクター)を設置し、幼生を集めて落とし、その生残を高める技術を開発する。	H21～22	環境増養殖
		資源評価調査	ABC(生物学的許容漁獲量)の決定と対象資源の管理状況把握を目的として、県内主要漁協における漁獲量やそのサイズを把握する。	H10～	海洋生産技術
		河口堰下流域におけるヤマトシジミの資源増大及び管理技術の開発	日本で漁獲されるシジミの大半は汽水域に生息するヤマトシジミであるが、河口堰を持つ河川の下流域では流れの停滞性が増大することにより、底質悪化やベントスの減少等が問題となっている。本研究では吉野川下流域におけるヤマトシジミの増殖条件を明らかにし、本種資源の増殖手法を開発する。	H21～23	環境増養殖
		底生生物群集の資源生態把握調査	小型底曳網等の標本船調査および主要漁協の漁獲統計調査を実施し、過去の情報とともにデータベース化することにより、紀伊水道域の生物群集の動態を解析する。	H13～	海洋生産技術
		包括的資源回復計画(紀伊水道小型底びき網漁業)作成推進調査	平成19年度に計画策定された徳島県小型底曳網漁業包括的資源回復計画に関して、その実施に必要な資料収集・解析およびその効果のモニタリングをおこなう。	H17～23	海洋生産技術
		紀伊水道機船船びき網漁業の資源管理に関する情報提供事業	カタクチイワシシラスの漁況予測に関するデータの収集及び解析、漁場形成状況把握のための餌料生物調査や計量魚探による音響調査を実施する。	H17～	海洋生産技術
安心安全な農林水産物の供給	安心安全な水産物生産技術	成長が良く病気に強い養殖用アユ種苗の開発	本県のアユ養殖業は、近年、生産量が大幅に低下している。県産アユの地位向上を図るためには、養殖業者に成長が良く病気に強いアユ種苗を生産・供給し、他産地より高品質なアユの生産が求められている。本研究では「成長が良く病気に強いアユ種苗」の生産技術開発を行い、優良な種苗を県内養殖業者に供給することにより、アユ養殖業の振興を図る。	H21～23	海洋生産技術

試験研究の基本的推進方向		研究課題名	内容	研究期間	担当
センター基本推進方向	水産部門推進方向				
安心安全な農林水産物の供給	安心安全な水産物生産技術	有害・有毒プランクトンの被害防止対策(赤潮発生監視調査、赤潮発生予察調査、貝毒発生監視調査)	有害・有毒プランクトンの発生状況調査を行い、その結果を基に関係機関と連携した有害・有毒プランクトンによる被害防止を図る。	S54～	環境増養殖
		養殖漁場環境調査	養殖漁場における水質及び底質の推移を把握し、その結果を基に適正な漁場利用を促進する。	S54～	環境増養殖
自然環境の保全と地球温暖化対策	漁場環境の保全と地球温暖化対策	小型封入容器による省力・低コスト型アマモ場造成技術の開発	公共事業から市民活動まで幅広く活用できる省力・低コスト型アマモ場造成技術を開発することを目的として、封入容器の開発を中心とした播種技術の開発およびその効果の検証をおこなう。	H20～22	環境増養殖
		磯焼け対策緊急整備事業	播磨灘南部地区、阿南地区に造成される藻場を対象に、食害対策や浮泥対策、種苗供給等をおこない、効率的なガラモ・カジメ場の造成と新たに創出された造成藻場を良好に維持するためのメンテナンス及びそのモニタリングをおこなう。	H19～27	環境増養殖
		貝類及び藻類増殖付加機能ブロック効果検証調査	伊島漁港南沖防波堤で使用される貝類、藻類の増殖機能を付加した消波ブロックの磯根資源に対する増殖効果を検証する。	H20～23	環境増養殖
		カワバタモロコ種苗生産試験	絶滅危惧種であるカワバタモロコの保護および増殖を目的として、本種の種苗生産を実施する。	H19～24	環境増養殖